

Funehiki High School News vol.92

◆ 第 65 回卒業証書授与式が挙行されました



3月1日(日)、第65回卒業証書授与式が挙行され、144人の生徒が船引高校を卒業しました。たくさんの来賓がご出席の中、生徒代表の吉田巧さんが「今日は、私たちのためにこのような素晴らしい卒業式を挙げていただき、心より感謝申し上げます。チーム船引という素晴らしい伝統が今後も皆さんに引き継がれ、さらに発展することを期待しています」と答辞を述べました。生徒たちのさらなる活躍を期待したいと思います。

◆ デュアル成果発表会が行われました



2月24日(火)午後1時30分から田村市文化センターで、デュアル成果発表会が行われ、2・3年生の実習生が普段の実習の成果を披露しました。実習先の企業で普段どのような実習を行っているか、いろいろ工夫しながら発表しました。堂々と発表する生徒がいれば、逆に壇上で緊張しながら発表する生徒もいました。どの生徒も一生懸命に発表した印象があり、盛大に盛り上がりました。

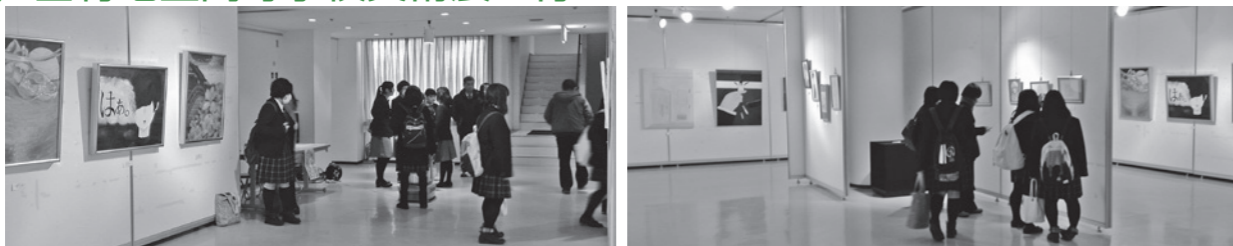
デュアル成果発表会に向けて、生徒たちは放課後の時間などを利用して何回もリハーサルを重ねてきました。



発表会の中で、田村市立常葉幼稚園長の武田幸子様を講師に招き「気づいていますか?身近な宝物に」という演題で講演していただき、関係者、生徒ともに真剣に耳を傾け聞いていました。

本年度、受け入れてくださいました実習先の企業様には厚く御礼申し上げます。普段、高校生活ではできないデュアル実習をさらに発展させるためにも企業様のご協力が必要だと思っております。来年度も数多くの企業様にお世話になりますが、今後もご支援ご指導のほどよろしくお願いいたします。

◆ 田村地区高等学校美術展が行われました



去る2月20日(金)から22日(日)まで、田村市文化センターで田村地区高等学校美術展が行われました。美術部の生徒が描いた絵画などが出品されました。力作揃いの作品が数多く出品され、多数の来場者が興味深く観賞されていました。今後も飛躍を続ける船引高校文化部のさらなるご支援のほどをよろしくお願いいたします。



一緒に笑いましょう

Rachel Sherer
レイチェル・シェルーさん
(アメリカ合衆国
オハイオ州出身)

海	を	越	え	て
英	語			
	指	導	助	手
ペ	ン	リ	レ	ー
			No.	22

今は新しい季節・新しい生活の始まりをお祝いする時です。私の家族にとっては父の誕生日をお祝いする時でもあります。ある年、私たちは「ハッピー・バースデー」の歌を歌ってから父にケーキを渡し、父がそれを切る様子を楽しみに見ていましたが、成功しなかったことを覚えています。実はそのケーキは砂糖菓子の飾りつけをした厚紙の箱で、ケーキではなかったからです。またある年には中が空洞のケーキを買ってきて、膨らませた風船をケーキの中に入れておきました。父がケーキを切ろうとした時に大きな音がして風船が割れることを私たちは期待していたのですが、残念ながら風船はしぼんだだけでした。

なぜ私たち家族が、父にそのようないたづらをするのか不思議に思うかもしれません。実は父の誕生日は4月1日で、人々が互いにいたづらし合う「エイプリル・フール」として知られている日だからです。その日は本当に注意深さと用心が必要です。誰かの車の中を風船でいっぱいしたり、職場では事務室内のあらゆる所に飲み物のカップを置いたりなどのいたづらを行います。あるいは、フェイスブックやツイッターなどで、今後の人生でとんでもない事をしでかすつもりだとか、ヒマラヤの雪男を見たところだなど、まるで本当でないことを見せたり言ったりするのです。また「スターバックスで今日の正午まで無料で飲み放題だって知ってた?」「ごめんなさい。うっかりして私の車をあなたの車にぶつけちゃったの」など一日中間かされるかもしれません。また、その日の「ニュース」でさえ信用できないかもしれません。なぜなら、マクドナルドが健康上の影響をうたってフライドポテトをもう売らなくなるそうなどの風聞が流れるからです。また、今日のある時間に太陽系の惑星が地球の重力に影響を及ぼす異常直列になり、もし特定の時間にジャンプすれば空中浮遊の経験ができるなどのまことしやかなジョークまであります。時にはジョークを真に受けて本当に怒ったり、感情を害したりする人もいますが、面白がって気楽に対応すればよいのです。



この伝統がどこに由来して、どのように始まったのか誰も分かりません。しかし、新年を4月1日から1月1日にする新しい暦が受け入れられた16世紀のフランスで始まったのかもしれない。新しい暦は信心深い人々や地方に住んでいて暦が変わったことを知らなかった人々にはすぐに受け入れられなかったので、相変わらず4月1日に集まって新年を祝おうとしていた人々に無駄足を運ばせたり、実際にはやらない偽のパーティーに招待したりして人々はいたづらをし合ったのでしょう。フランスではこの日を「ポアソンダブリル (poisson d'avril)」としています。「ポアソン (poisson)」は魚を意味し、人々(ほとんどは学童)は紙で作った魚を気づかれないように誰かの背中にくっつけようとしています。最後に、もし誰かにいたづらをする時は、いたづらをされた人が笑えるような気配りが大切なことは言うまでもありません。